

塗料マイスター制度

Meister

- 塗料販売店としての誇りを持ち、お客様と向き合おう!!
- 3段階レベルでの検定を実施 !!
- 知識・技術をより深め営業に役立てよう !!

日本塗料商業組合

Japan Paint Commerce Association

Meister

塗料マイスター制度とは

塗料販売店の人材育成プログラムであり、塗料マイスターを育てる制度です。

塗料マイスターとは

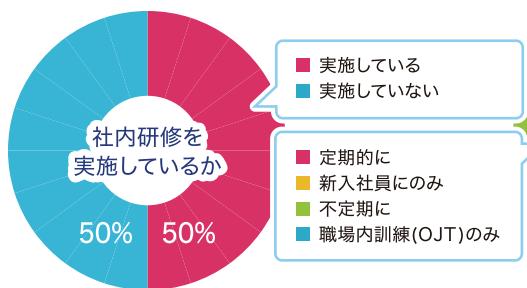
お客様の課題解決や、利益創造を推進できる塗料販売のスペシャリストであり、そのために常にスキル向上ができる人の事です。

introduction

塗料販売店は、全国のメーカーと地域のお客様との間の要的な存在であり、重要な役割を担っています。しかし、その重要性をあまり認識されてはいません。塗料は半製品と言われており、塗料が適切に塗装され塗膜が完成してはじめて、その性能を発揮します。そこで、お客様の希望する塗装に対して、適切な提案することができるのが塗料販売店です。その役目と責任をしっかりと認識し、塗料販売としての誇りを持ち、お客様と向き合うためには、塗料や塗装のこと、塗料販売における知識や技術、考え方などを身につける必要があります。そこで日本塗料商業組合は、その目標の道標となるような育成プログラムを提供することにしました。

● 組合員の社内研修の実施について

アンケート内容とその結果



令和4年度、第2回「組合の声」アンケートの社内研修に関するデータによると社内研修を開催している会社は全体の半分、かつ、その中でも定期的に研修を実施しているのは20%、つまり、定期的に社内研修を行っているのは全体の10%であることがこのアンケート結果からわかりました。

● 3段階レベルでの検定を実施!!

塗料マイスターまでの3段階のステップとそのレベル

塗料・塗装は、建築用や自動車用、工業用など様々な種類があります。それらを取り扱う塗料販売従事者は、それぞれの分野でのスペシャリスト（塗料マイスター）を目指していただきたいと考えます。まず、どの分野においても基礎となる知識を問うスタンダードの資格取得。これは専門分野を極めていくためにも、その土台となるものであり、必須となる資格となります。その後に、専門分野ごとに設ける専門的な知識を問うアドバンスの資格取得。そして最後に専門分野のスペシャリストである塗料マイスターの資格取得を目指していただきます。これらを、それぞれのステップごとに検定を実施し、合格認定をしていく流れとなります。

より良いお客様対応ができよう
頑張っていきましょう!!



● ブランディング効果を期待 !!

塗料マイスターとブランディング

育成プログラムで塗料マイスターを育てていく一方で、この塗料マイスターという名前を世の中に周知させ、塗料マイスターの価値、および塗料販売店の価値が向上するようなブランディングをしていくのも塗料マイスター制度の一貫です。

育成プログラム

- ・塗料マイスター手帳
- ・検定プログラム
各レベルを検定テストにより認定する
- ・資格更新プログラム
- ・情報提供

ブランディング用グッズ

- ・検定認定証
- ・のぼり (有料)
- ・バッジ (有料)

※右記写真はイメージです。
実際の物とは異なる場合がございます。
あらかじめご了承ください。



日本塗料商業組合について

全国に多数会員が存在し、1252店(2023年4月現在)が所属する国内で唯一の塗料販売店の組合です。
詳しくは右記QRコードからご参照ください。



Q & A

- | | |
|--|---|
| Q: 検定は誰でも受けれますか？ | » A: 塗料マイスター制度は組合員のための制度であり、検定も組合員のみが受けることができます。 |
| Q: 検定資格は個人に帰属しますか？ | » A: 組合員であることが必要ですので、その個人が組合員から離れた場合は資格はなくなります。 |
| Q: 一部の組合員のための制度ではないですか？ | » A: 大都市圏だけでなく、全国の組合員が使える制度になるように考えております。 |
| Q: 塗料マイスターの資格は、公的な資格ではないので、意味がないのではないですか？ | » A: 日本塗料商業組合は国内で唯一、全国の多くの塗料販売店が所属する組合であり、そこでの基準レベルは全国レベルでの基準となります。また、塗料マイスター制度および塗料マイスターをブランディングすることにより、その意味を築いていけると考えています。 |